

# 公益社団法人 日本図書館協会

A023067 平成26年2月3日設立登記 内閣府認定 税額控除証明日：平成26年4月25日

## 概要

公益社団法人日本図書館協会（以下「JLA」という。）の前身である「日本文庫協会」は、1892（明治25）年3月、25名の図書館人によって結成されました。アメリカ、イギリスに次いで世界で3番目に設立された歴史ある団体です。以来120年以上にわたり、日本の図書館を代表する総合的な全国組織として、図書館の成長・発展に寄与する活動を展開しています。全国の図書館員、図書館を支える方々などの個人・施設をあわせて約6,000の会員を擁しています。会員は、公共図書館部会、大学図書館部会、短大・高専部会、学校図書館部会、専門図書館部会、図書館情報学教育部会のいずれかに所属し、各部会が行う活動に参加できます。また、「図書館政策企画委員会」「図書館の自由委員会」「障害者サービス委員会」「分類委員会」など23の委員会があり、会員が専門的な立場で活動しています。

## 主な活動内容



全国図書館大会の展示風景  
(2016年10月16日)



機関誌  
『図書館雑誌』(月刊)の表紙



### 1 図書館員の育成・研修

- ・「全国図書館大会」の開催。公立図書館職員向けの「図書館基礎講座」及び「中堅職員ステップアップ研修」の実施。テーマごとの研修として「児童図書館員養成講座」「障害者サービス担当職員講座」など各種研修の実施。
- ・「日本図書館協会認定司書制度」=図書館の実務経験や、実践的知識・技能を継続的に修得したと認められる者を、公共図書館の経営の中核を担いうる司書として公的に認定。

### 2 図書館にかかわる情報の収集と提供

- ・機関誌として『図書館雑誌』(月刊)及び『現代の図書館』(季刊)を発行。
- ・『日本の図書館 統計と名簿』及び『図書館年鑑』を毎年発行。
- ・図書館協会資料室の運営。

### 3 図書館の運営サービスのための調査、ツールの作成

- ・『日本十進分類法』
- ・『JLA図書館情報学テキストシリーズ』
- ・『日本目録規則』
- ・『図書館実践シリーズ』の刊行など。
- ・『基本件名標目表』の維持管理。

### 4 その他

国際交流、関係団体との交流、図書館政策に係る提言など。

## <図書館とまちづくり>

公共図書館部会では、昨年全国の図書館設置自治体にアンケートを行い、まちづくりや地域振興のための事業を行っているか調査をしました。

回答のあった1049自治体のうち、まちづくりに役立っている事業を行っていると感じた自治体は、500近くに上りました。公共図書館部会は、ホームページ※上で回答のあった事業内容を公開しています。

※) <http://www.jla.or.jp/tabid/272/Default.aspx>

自治体の総合計画等における図書館政策の位置づけアンケート結果

地域	図書館設置自治体数	アンケート回答数	まちづくり等事業実施自治体数	まちづくり等事業検討中自治体数	総合計画等に掲載自治体数	うち地方創生総合戦略に掲載自治体数	総合計画等に検討中自治体数
北日本	246	191	85	8	118	12	5
関東	408	288	138	10	200	19	6
東海北陸	160	143	69	8	98	18	6
近畿	161	130	63	4	90	15	10
中国四国	177	131	58	13	80	14	4
九州	209	166	84	11	103	10	8
合計	1,361	1,049	497	54	689	88	39

### 図書館の地域振興事業例

ビジネス関連セミナー・講座・連携事業  
 ビジネス支援事業  
 経営・起業相談会  
 就労支援サービス  
 宿泊事業所への図書への団体貸出  
 農業支援サービス



### まちじゅう図書館

○市内の店舗やオフィスなどのスペースにスタッフのお気に入りの本を展示し、訪れた人に自由に読んでもらい、本を通じた会話を楽しむ図書館。平成25年から事業を開始し、現在50店舗(H28.8)の登録がある。各店舗で読書に関するイベントを開催している。

○町内の酒屋、銀行、カフェなどの一角に本を置き、訪れる人と本を介して交流する。

### 図書館講座～家庭菜園から農業まで～

- 農業を支援するため野菜づくりや農産物の直売に関することを学ぶ。
- 農業者と消費者、関係団体等が情報交換を行う場の提供。
- 隣接する畑で児童が販売体験をするための協力。
- 農業初心者でも親しみやすい農業資料の提供。
- データベースの利活用促進のための操作講習会の実施。